



【令和8年度予算（案） 60百万円（60百万円）】

【令和7年度補正予算額 200百万円】

水環境の保全と活用による地方の暮らしの安定と活性化のため、良好な水環境・水循環等に資する施策を総合的に推進します。

1. 事業目的

水環境を、水質のみではなく、生きものの豊かさ、景観、文化、地場産業や観光への活用などの観点も取り入れ、水環境の多面的な価値を評価し、水環境の保全と活用により地方の暮らしの安定と活性化を実現する、新たな水環境の制度を構築・実装するために、

- ・良好な水環境等の創出モデル事業と水辺の環境活動プラットフォームの運営による地方の暮らしの安定と活性化の推進。
- ・新しい水環境保全制度構築に関する調査・検討を実施。

2. 事業内容

①良好な水環境等の創出モデル事業

- ・豊かな水辺等の良好な環境の保全と活用による観光や地場産業の振興、藻場・干潟の保全・再生・創出と地域資源を活用する里海づくりの活動を促進。
- ・近年指摘されている水環境保全上の課題に対応し、地方の伸び代を活かし、地方の暮らしの安定と活性化を図る事業を展開。

②水辺の環境活動プラットフォームの運営

- ・構築したモデルの横展開や地域のニーズと企業のビジネスや団体の活動のマッチング等を促すプラットフォームを運営し地方の暮らしの安定と活性化を推進。

③水環境の保全・活用に関する新たな制度の構築

- ・国民ニーズの変化を踏まえ、汚濁対策を重点に進めてきた水環境保全施策に、生きものの豊かさ、景観、文化、地場産業や観光への活用などの観点を新たに盛り込むための調査検討を実施し、良好な水環境の創出を推進する制度を構築。

3. 事業スキーム

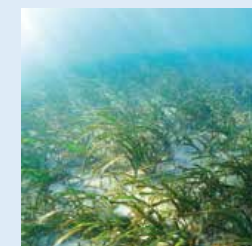
- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和5年度～令和11年度

4. 事業イメージ

良好な水環境の保全・活用



関係者協働の環境活動による水辺の価値向上



生物多様性豊かな里海の形成



子ども参加の身近な水辺の調査



良好な水環境の活用による地場産業の振興



地域外からの資金の獲得



高校、農家と連携した米のブランディング化

モデル事業の実施、プラットフォームの運営、新たな水環境制度の構築により、良好な水環境の保全と活用による地方の暮らしの安定と活性化を図る